

文化総合誌

宇佐文学

編集・発行 10年 表紙も一新



2024 桜飲 74号

宇佐市院内町《高並谷》の「軽トラ神輿」



社是
自云のため
せうたの
せんたの
せんたの
せんたの

我社は建物の基盤となる鉄骨を造っている会社で人々の生命と財産を守ることが我社の使命だと考えています。昨年会社創立50周年を迎え、新社屋及び第5工場も完成し、九州内でもトップクラスの実績を上げています。そのような中でも、楽しく仕事をするこそが重要だと思っており、社員旅行は海外に行きまして。更に「35億売ってハワイに行こう!」を合言葉にして励んでいます。



国土交通大臣認定 H グレード
AW検定認定工場

信頼のファブ
清松総合鐵工株式会社
Kiyomatsu Steel Structure co.,ltd.

大分トリニータ クラブスポンサー
ヴェルスバ大分 プラチナスポンサー

〒879-0304 大分県宇佐市大字尾永井470番地1
TEL.0978-32-2176(代) FAX.0978-32-0573

当社ホームページ▶ <http://www.kiss.ne.jp>
E-mail: info@kiss.ne.jp

《巻頭・感動長編随筆》 人生はつくづく塞翁が馬

今 仁 章 夫

今年の九月には後期高齢者ともなる年齢になった。

^^ 中略 ^^

また、昨秋号にもカラー広告をご出稿いただいた清松総合鐵工（株）の清松芳夫社長は、企業人という簡単な言葉などでは言い表せないユニークで面白いお方。インターネットでは「大分県で一番有名な社長さん」とあり、毎月一日に行われる朝礼には一般の人でも参加できるとあって、昨年の四月一日に出席させてもらってからは毎月出席するようになったのである。田舎暮らしでは講演など聴く機会はないし、博学多才な清松社長のお話は毎回ノートにメモを取りながら拝聴している。なにしろ民間企業の朝礼で、社長さんが哲学の話をされるのには驚いたものであった。

「あなたは最高・わたしはついてる・会社はあなたを認めてる」という標語が壁に掲げられている広い部屋での朝礼の始まりはヒヤリハット報告から。従業員がみんなの前で失敗・ミス・間違いを報告すればお咎めなしとなるのだそうで、失敗しても「ええじゃないか運動」というのだそうである。失敗を責めると何もなくなる、消極的になって挑戦しなくなるというのには目からウロコの思いがしたものだ。

もう一つは「いいね運動」。誰かが誰かのいいところを見つけて朝礼で発表するのであるが、その人を知らないいと何も出てこないし好きにならなければならず、興味を持ってほかの人を見るようになり全員が仲良くなるといふのである。そのような運動の結果が1人+1人=2人以上となる相乗効果を生むことになり、会社が高成長する大きな要因となっているのであろう。知り合いの税理士さんにお尋ねしたところ、従業員三十人の市内地場企業で三十五億円という売り上げは驚くような数字なのだそうである。宇佐市民の方々に、一度は清松総合鐵工の朝礼に参加されることをお勧めしたい。